

# 私はアブラゼミである

加藤 誓 (ちかい)

今年は大変だ。外に出ようとするが、  
毎日の大雨でなかなか出られない。  
聞くとところによると、人間もコロナ禍で家に  
何か月も籠っているような。



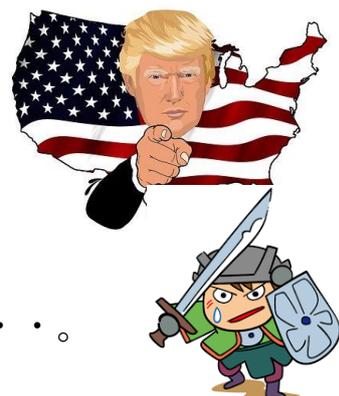
籠ることなら私は負けない。もう6年も土の中で籠ってきたのだから。  
ただ、私には、この2週間でどうしてもやらなければならないことがある。  
雨に負けるわけにはいかない。



意を決ってこの朝早く起き外に出ることにした。  
外は、朝でも ムシ暑く 以前とは変わっていた。  
廻りの環境も変化し 私たちの町にも 敵対視していた  
「クマゼミ」がいつしか進出してきたのだ。  
早朝にも拘わらずお互い相手を威嚇するように  
大声を張り上げ自己を主張しはじめた  
私も精一杯の声を張り上げた。

道端に大雨で濡れた新聞が落ちていた。大きな目で読んでみた。

「トランプ 対 バイデン」「中国 対 米国」  
「香港 対 中共」「日本 対 ? 」など 人間も勢力争いが  
激しさを増してきたと一面に載っていた。私も頑張らなくては・・・。  
私の目的は、デモで騒ぐことでも 勢力争いをする事でもない。



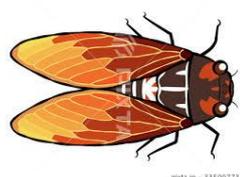
土の中での長い辛抱から解放され 大いに羽を伸ばし 空を自由に飛び回り  
喜びを爆発させ、 そしていい嫁さんを早く見つけて

子孫繁栄のために働くことである。

どうしようかと 迷ったり、ジーと考えている暇はない。

私の寿命は後 2週間しかないのだ。

目的のためにあちらの邸宅から、こちらの邸宅、あちらの公園から、



こちらの公園 そしてゴルフ場と 生命ある限り  
木々の間を飛び回る。

私の名は、通称「アゼミちゃん」。アブラゼミである。

秋が近くなったのか、今日は、静かな 静かな 朝であった。

頑張ったね「アゼミちゃん」